

さらにずっと



おいしく、 長生きのまちづくり

をめざして

北生協歯科 歯科衛生士
村上 智子



歯科訪問診療にたずさわっていると、「歯が痛い」「入れ歯が合わない」のような事だけでなく、「食べる時にむせる」「飲み込みにくい」、また「ずっと口から食べたい」「胃ろうにしたくない」など、ご本人やご家族のいろいろな思いがたくさんあることを実感します。

歯科に通うことができなくなった方でも、訪問診療で定期的に口腔ケアやお口のリハビリを行うことで、おいしく安全に「口から食べる」ことが長く続けられるようになります。

現在、肺炎は高齢者の死因の中でも高い割合を占めています。お口の中をきれいにすることで細菌を減らし、誤嚥性肺炎のリスクを減らすことができます。

歯科では、以前よりはみがきセミプロ活動や定期検診のおすすめをしてきました。これからも、さらにずっと「おいしく長生きのまちづくり」をめざして、病院や施設など、他の事業所の方々とも連携を取りながら、ご本人やご家族の皆様の思いに寄り添っていきたいと思います。

